

常福寺通信13

2008年12月発行 不定期
 発行所 池田市神田3-11-2
 高野山真言宗 別格本山 常福寺
 電話072-751-3940 FAX072-754-1226
 編集 住職 松尾光明
 koumyom@ka2.so-net.ne.jp

「一点」

捨てて

捨てて

捨てて

一点に

集中する

それが

光であり

花であり

命である

そういう生き方を

してゆこう

生きているうちに決めておく「自分の人生の終わり方」

私たちは、この世に生まれました。そして、今現在生きて、日々の暮らしを営んでいます。しかし・・・人生に終わりはやってきます。最近、エンディングノート、又は旅立ちの準備ノート等、いろいろな名前前で販売されております。自分に万が一のことが起こった時のことを書き留めておくものです。私も自分でつくりました。

「死について 考え 向かい合うことは よりよい人生を作っていくことです」

「私の死後は 残されたもののいいようにしてもらえればいい」

「でも 残されたものは 悲しみ とまどい 結局納得の行かない一連の儀式を行うこととなります」

昔の言葉に「つひにゆく 道とはかねて聞きしかど きのふ今日とは思はざりしを」と、いうのがあります。

生きているうちに 自分の生涯のまとめをしておきましょう

私は思います。それは、自分のため、家族のため、身内・友人のためでもあります。

その中一番にすることは「自分の遺影」を準備しておくことです。古い昔の写真はだめですよ、今の一番お気に入りを残しておきましょう。そしてそれは、じぶんだけがわかる場所に仕舞っておくのではなく、家族に伝えておかないといけません。

まずは、自分のお気に入りの写真から準備しませんか・・・。

これからの 行事

2008年

12月31日（水）除夜の鐘

2009年

1月15日（木）大般若法要



葉ボタンが色づきました

2009年2月1日（日）午後 第50回・福々寄席を開催します。

地震等の災害に対応するために、日頃気をつけておくことを聞きました。中でも感心したのは、保存期間が長い非常食です。ご飯・おかず・パン・おみそ汁・水等。口に入るものはかなり試食しましたが、皆どれもおいしいです。そして、割と簡単に作れます。山菜おこわ・赤飯・おかゆ、パンは缶に入っています。ラーメンも、そばもあります。なかには常温で五年間持つものもあります。人ごとではない話ですので、是非この機会に「もしも」のことを、家族皆様で、考えてみられては如何でしょうか。



持っているのに
 不満を抱き
 持っていないことに
 不平を抱き
 やがて
 うらやむ気持ちが
 頭を もたげてくる

除夜の鐘は、大晦日の11時半頃から撞きはじめます。どなたでも参加できます。数は108と決まっていますので、ご了承ください。

大阪仏教テレホン相談室

06-6245-5110

毎週月曜～金曜 午後2時～5時 無料

8月と年末年始はお休み

「仏事相談・信仰相談・その他の相談」

十宗派の僧侶がお受けします

「くうちゃん」が、草むらで何かを狙っているように見えません。とにかくやんちゃです。元気がいっぱいです。よく食べます。メタボになってます。

